



子どもを守るといふことは？！

以前、同年代の女性と話していて、あまりにびっくりしてしまって口が開いてしまったことがありました。まさに、「信じられない。」内容でした。でも、こういう親御さんが増えていくのかもしれないとも感じて、僕は呆然としたのです。

その女性は、自分の友だちの行動が、あまりに過保護すぎてびっくりしたのだと言います。その話はこうでした。彼女の友だちには、ひとり息子がいて、就職も決まり働き始めたのだそうです。大変ながらも、頑張ってお勤めしているというので、よかったねなんて返したそうです。話には、続きがあって、その息子さんは帰りの電車で眠ってしまい、降りる駅を乗り越してしまうことも度々だと続いたのです。よくあることだよねと、やっぱり働くのは大変だねと応えた後が本当に驚いたのだとその女性は話しました。

友だちのそのお母さんは、あろうことか、息子さんの帰りの電車の時間と乗り込む車両を教えてもらい、降車する駅のホームで息子を待ち構え、一度車両に入って毎日降りられるようにしているのだと結ばれたのだそうです。これどう思いますか。僕は寒気すら感じました。その息子さんがかわいそうで哀れに思いました。しかもそのお母さんは、「過保護だよ。分かっているけどやめられないの。」とも話したそうです。

唖然としてしまうこの事例は、教育の現場にいる僕にとって、近年感じるようになった親と子の関係をよく表している事例だと思いました。程度の差こそあれ、保護者の方の中にも、もしかしたら思い当たった方があるかもしれません。

最初に、何のために子どもたちを育てるのか、教育するのかということをしっかり確認したいと思います。皆さんは何と答えますか。この場でも何度かお話ししてきたように、僕は「子どもたちが幸せになる」ために教育活動をしています。「子どもたちが自分の力で、自分の人生を切り拓ける」ように関わっています。皆さんも思い・願いは同じではないでしょうか。

次に現実を理解しましょう。子どもたちの人生は、まだまだ、これから長く続きます。僕も保護者の皆さんも、順番から言えば、彼らよりも先に死ぬことになり、子どもたちは1人で自分の人生に向き合わなければならない時が必ず来ます。何かをしてあげたくても、何かを伝えたくとも、その時はもう何もできない。僕らは、彼らの人生に一切手出しできなくなるのです。そして、僕らが何

ら子どもの人生に関われなくなったとしても、当たり前子どもたちの人生は続きます。泣いても笑っても、自分の力で、生きていくほかなくなるのです。だから、その時に困らないようにそうできる力を育まねばならないのです。

しかも、彼らが生きる社会は、僕らが想像できないような社会に変わっている可能性もあるわけです。自分ひとりになったときでも、自分自身で考え決断しながら、自分の人生をよりよいものとする必要があると思いませんか。それを願うならば、今僕らがすべきは、子どもを守ることや失敗しないようにフォローすること、苦しいこと嫌なことから逃すこと、歩むべき道を準備することでは決してないと断言します。

さらに、皆さんに確認してほしいことは、子どもの人生は子どものものであり、保護者の皆さんのものではないということです。子どもの人生を考えるのは子どもであり、心配やアドバイスをしたり、不安な心を支えたりはするけれど、発達段階に応じて、自分で考えて、自分で行動して、自分で問題解決する当事者は、子ども以外ないということを、しっかり分かっている必要があります。

最後に、今お話しした視点から、最初の事例を見てみましょう。

降りる駅を乗り越してしまうというのは、誰の問題でしょう。もちろん子どもの問題です。この事実を前にして、お母さんは、自分の息子が乗り過ぎて大変な思いしていると、もしかしたら家に戻ってこれなくなるかもしれないと、自分の「不安」が喚起されています。お母さんは、息子が「失敗」しないように、迎えに行くという行動をすることで、自分の「安心」を得ているのです。

では、その問題から取り残された子どもはどうでしょう。お母さんのおかげで、乗り過ごすという「失敗」はしないですが、そういった「失敗」にどう対処したらよいのか、考えることも、うまくいかない、またやっちゃったと悩むこともできなくなってしまいます。もっと言えば、そのことに対処する具体的な手立てももてません。それはつまり、自分の問題に対して、自分でどうやって乗り越えるかという学ぶ機会をそっくり奪われているということなのです。

お母さんは、そのことを「よくない」と感じながら、止められません。子どもに起きた「問題」が親の「問題」としてすり替えられる怖さがここにあります。子どもは学びの機会を奪われ、自立のための大切な経験ができないという「苦」を背負い込むことになるのです。本当にそれでよいですか。